

臨床研究「変形性膝関節症に対する膝関節手術が足部アライメントに与える影響に関する後ろ向き観察研究」について

筑波大学附属病院整形外科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下の通りです。

① 研究の目的

変形性膝関節症は膝関節の軟骨の変性や摩耗が主な病態であり、進行すると下肢全体がO脚やX脚となります。膝関節手術はこれら下肢全体のアライメントが変わります。例えば、O脚が真っ直ぐな脚となります。膝関節手術により、膝の症状はよくなるのがわかってきていますが、実は足関節へも影響を与えることがわかってきました。膝関節手術をすると足関節に痛みが出る、または改善するという患者さんがいらっしゃいます。それは脚がまっすぐになることで足の着き方変わっていることなどが考えられますが、詳細はまだわかっていません。本研究では患者様方の手術前後のレントゲンを調査し、膝関節手術が足関節をどのように変化させるか後向きに検討し、今後の治療に役立てたいと考えています。

② 研究対象:以下に該当する方を対象とします。

2011年1月から2022年6月の間に筑波大学附属病院で変形性膝関節症と診断された患者様のうち、同院で人工膝関節全置換術、人工膝関節単顆置換術、膝周囲骨切り術を受けた患者様

③ 研究期間:倫理委員会承認後 ～ 2025年3月31日まで

④ 研究の方法

今回の臨床研究では、過去に行われた診療記録(カルテ記録)、検査データ、画像データを参照しながらデータを集める後ろ向き研究で、患者様に新たなご負担を強いることはありません。また、個々の患者様が特定できるような個人情報は一切省き、データは匿名化して使用します。

⑤ 試料・情報の項目:診療記録、検査データ、画像データ

⑥ 研究機関名・研究者名

筑波大学 医学医療系 整形外科(○:代表者)

○菊池直哉、金森章浩

⑦ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族(ご遺族)が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もごさいます。

⑧ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院 〒305-8576 茨城県つくば市天久保2-1-1

所属・担当者名:整形外科 運動器医療学 菊池直哉

電話/FAX:029-853-3219/029-853-3162

対応可能時間:平日9～17時